

社会福祉法人ニコニコハウス平成25年度事業報告書

法人の概要

主たる事務所の所在地	愛知県名古屋市区鶴里町3丁目40番地1 (電話 052-825-0711)		
代表者職氏名	理事長 石川三枝子		
法人認可年月日	平成8年6月13日	設立登記年月日	平成8年6月21日

法人の行う事業

事業の種類	種類及び名称	管理者氏名	利用者数	職員数
第2種社会福祉事業	障害福祉サービス事業 (ニコニコハウス鶴里)	井上 英也	40名	常勤 6名 非常勤 20名
	老人デイサービスセンター (ニコニコデイサービス鶴里)	浅井 志朗	29名	常勤 5名 非常勤 12名
	障害福祉サービス事業 (ニコニコホーム)	松浦信太郎	24名	常勤 6名 非常勤 30名
	一般相談支援事業 (南区障害者地域生活支援センター)	阿隅 貴臣		常勤 4名 非常勤 1名
	特定相談支援事業 (南区障害者地域生活支援センター)	阿隅 貴臣		
	障害児相談支援事業 (南区障害者地域生活支援センター)	阿隅 貴臣		
	障害福祉サービス事業 (ヘルパーステーションわはは)	荒川 千秋	(約29名)	常勤 2名 非常勤 1名
	移動支援事業 (ヘルパーステーションわはは)	荒川 千秋	(約51名)	登録ヘルパー 約25名
	障害福祉サービス事業 (ショートステイどんたく)	杉山 誠	約100名	常勤 1名 非常勤 7名
	障害福祉サービス事業 (ニコニコハウス鳴海)	石川 修平	20名	常勤 4名 非常勤 9名
	特定相談支援事業所 (つるさと相談支援事業所)	松岡 茂		常勤 2名 非常勤 0名
	障害児相談支援事業所 (つるさと相談支援事業所)	松岡 茂		
	公益事業	居宅介護支援事業 (介護支援センターなごみ)	阿隅 貴臣	88名
障害者・高齢者在宅生活支援事業 (地域生活支援センターなごみ)		松岡 茂		常勤 1名 非常勤 0名

(職員数は平成25年4月1日現在)

役員(理事定数9名、監事定数2名)の状況

役職	氏名	就任年月日	備考	職業、社会的活動、所属等	理事会 出席回数
理事長	石川三枝子	平成8年6月23日	重任	無職、法人評議員	5回
理事	石川 武彦	平成8年6月23日	重任	無職、法人評議員	5回
理事	斎藤 義彰	平成8年6月23日	重任	無職、法人評議員	5回
理事	塩原 功一	平成8年6月23日	重任	無職、法人評議員	5回
理事	山元寿々恵	平成18年6月23日	重任	無職、法人評議員	0回

理事	岡部 裕司	平成 8 年 6 月 23 日	重任	無職、法人評議員	5 回
理事	青山 修司	平成 18 年 6 月 23 日	重任	片平学区民生委員会長、法人評議員	2 回
理事	後藤 和貞	平成 17 年 3 月 27 日	重任	春日野学区民生委員会長、法人評議員	4 回
理事	松岡 茂	平成 16 年 6 月 23 日	重任	常務理事、法人評議員	5 回
監事	竹内 俊就	平成 18 年 6 月 23 日	重任	会社員	5 回
監事	青木 仁子	平成 8 年 6 月 23 日	重任	弁護士	0 回

(役員は平成 26 年 3 月 31 日現在)

評議員(定数 19 名)の状況

役職	氏名	就任年月日	備考	職業、社会的活動、所属等	評議員会出席回数
評議員	八田 一郎	平成 10 年 5 月 17 日	重任	ニコニコハウス鶴里保護者	4 回
評議員	小池 久	平成 10 年 5 月 17 日	重任	ニコニコデイサービス鶴里利用者	5 回
評議員	田中 清	平成 22 年 5 月 17 日	重任	鶴里東区政協力委員	4 回
評議員	成田 民代	平成 23 年 5 月 22 日	重任	春日野学区民生児童委員	5 回
評議員	山元寿々恵	平成 18 年 5 月 17 日	重任	法人理事	0 回
評議員	林 多賀子	平成 20 年 5 月 17 日	重任	片平学区民生児童委員	4 回
評議員	進 千代子	平成 17 年 3 月 27 日	重任	春日野学区民生児童委員	5 回
評議員	阿隅 貴臣	平成 24 年 12 月 2 日	新任	介護支援センターなごみ管理者	5 回
評議員	松岡 茂	平成 15 年 5 月 17 日	重任	常務理事	5 回
評議員	石川 武彦	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	5 回
評議員	斎藤 義彰	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	5 回
評議員	塩原 功一	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	5 回
評議員	岡部 裕司	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	5 回
評議員	鈴木 聖美	平成 16 年 5 月 17 日	重任	元ニコニコホーム管理者	0 回
評議員	浅井 志朗	平成 17 年 12 月 11 日	重任	ニコニコデイサービス鶴里施設長	5 回
評議員	八木 俊介	平成 16 年 12 月 5 日	重任	労務経営管理コンサルタント	5 回
評議員	青山 修司	平成 18 年 5 月 17 日	重任	片平学区民生委員会長、法人理事	2 回
評議員	後藤 和貞	平成 17 年 3 月 27 日	重任	春日野学区民生委員会長、法人理事	4 回
評議員	石川三枝子	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事長	5 回

(評議員は平成 26 年 3 月 31 日現在)

理事会開催状況

開催年月日	出席者数	議決事項
平成 25 年 5 月 26 日	理事 8 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度事業報告の議決 平成 24 年度の決算の議決 定款の変更(基本財産の名称の変更)の議決
平成 25 年 10 月 27 日	理事 7 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市障害者基幹相談支援センターの応募の議決 笠寺建物の定款変更の取り消しの議決
平成 25 年 12 月 7 日	理事 6 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市障害者基幹相談支援センターの応募の議決 平成 25 年度第 1 次補正予算案の議決 評議員・理事定数の変更の議決 定款の変更の議決 就業規則(賃金規程)の改正の議決 運営規程の変更の議決
平成 26 年 2 月 1 日	理事 8 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム実施建物の購入の議決
平成 26 年 3 月 23 日	理事 7 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度第 2 次補正予算案の議決 平成 26 年度事業計画の議決 平成 26 年度予算案の議決

		<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の改正の議決 ・笠寺建物、土地の基本財産処分の議決 ・評議員、理事定数の変更の議決 ・定款の変更の議決
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評議員会開催状況

開催年月日	出席者数	議決事項
平成 25 年 5 月 26 日	評議員 16 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 4 年度事業報告の承認 ・平成 2 4 年度の決算の承認 ・定款の変更（基本財産の名称の変更）の承認
平成 25 年 10 月 27 日	評議員 14 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市障害者基幹相談支援センターの応募の承認 ・笠寺建物の定款変更の取り消しの承認
平成 25 年 12 月 7 日	評議員 15 名	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市障害者基幹相談支援センターの応募の承認 ・平成 2 5 年度第 1 次補正予算案の承認 ・評議員・理事定数の変更の承認 ・定款の変更の承認 ・就業規則（賃金規程）の改正の承認 ・運営規程の変更の承認
平成 26 年 2 月 1 日	評議員 17 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム実施建物の購入の承認
平成 26 年 3 月 23 日	評議員 16 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 5 年度第 2 次補正予算案の承認 ・平成 2 6 年度事業計画の承認 ・平成 2 6 年度予算案の承認 ・就業規則の改正の承認 ・笠寺建物、土地の基本財産処分の承認 ・評議員、理事定数の変更の承認 ・定款の変更の承認

法人として重点的に取り組んだ事項

- ・ 基本理念の確認と浸透
法人内研修を実施し法人理念の振り返りを実施。
- ・ 事業体制の整備
基幹相談支援センター設置準備を進めた。
利用者の夜間見守りの強化、食品製造の衛生環境整備、安全運転体制の整備など安全管理体制を検討、整備した。
- ・ 人材育成
新卒求人の定期的確保、定期人事異動の検討、コミュニケーションスキル向上に関する法人内研修、管理者労務管理勉強会等実施。
- ・ 環境整備
人事管理ソフト・ウイルス対策ソフトの導入、PCのXPから7への移行、在庫書類、在庫備品、食品製造の衛生環境、老朽化備品の整備を実施。
- ・ 地域活動
夏まつり、秋まつりを実施し地域に開放、売上の一部を東北支援に寄付。
町内会、消防団合同の救命救急訓練を実施
法人内研修で民生委員、区社協を招き地域活動勉強会を実施。
- ・ 広報活動

ホームページの活用検討をした。

・ その他

各事業所毎で職員対象に救命救急訓練を実施。

あいち福祉オンブズマン訪問。

本部監査指摘事項及び改善状況

平成25年度監査なし。

施設運営及び事業運営の状況

A ニコニコデイサービス鶴里（指定通所介護・介護予防通所介護事業）

（障害者基準該当自立訓練・生活介護事業）

1 職員構成（平成25年4月1日現在）

常勤	5名	施設長1、生活相談員3、介護職員1
非常勤	12名	看護職員5、介護職員7

2 事業実績

指定通所介護・介護予防通所介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
実施日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
職員数	17	17	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17.1
登録人数	52	50	47	48	47	46	43	44	44	41	41	42	45.4
要支援1	2	3	0	8	8	8	9	7	7	12	12	13	89/7.4
要支援2	24	24	22	26	25	24	25	22	25	15	22	25	279/23.3
要介護1	187	198	184	198	186	201	207	191	191	184	161	153	2241/186.8
要介護2	153	134	131	133	140	128	127	135	126	115	98	110	1530/127.5
要介護3	101	71	71	77	63	61	69	56	48	51	47	57	772/64.3
要介護4	53	52	59	64	64	73	61	46	41	41	43	41	638/53.2
要介護5	30	30	24	26	37	29	35	32	29	16	11	15	314/26.2
延べ利用数	550	523	491	532	523	524	533	489	467	434	394	414	5874/489.5

障害者基準該当自立訓練・生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
自立訓練	4	4	5	4	7	4	0	0	0	0	0	0	28/2.3
生活介護	89	87	85	94	94	85	90	90	91	82	82	92	1061/88.4
延べ利用数	93	91	90	98	101	89	90	90	91	82	82	92	1089/90.8

全事業合わせて利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一日平均	24.7	22.7	23.2	23.3	23.1	24.5	23.1	22.3	23.3	21.5	19.8	19.5	22.6

3 主な行事

花見 4/1

避難訓練 7/18 10/21

夏祭り 8/26～31

ニコリンピック 10/25～31

クリスマス会 12/19～25

外出（不定期に小グループを編成して実施）

ボランティアによるピアノ・フルート演奏会、大正琴演奏会、歌と踊りの会、歌の会など随時実施

4 監査指摘事項及び改善事項

平成25年度監査なし。

5 その他問題点及び反省事項

- ・ 昨年度の倍以上の利用中止があり（理由の多くは体調を崩し入院や施設入所）新規利用者は例年並みで、利用者数が減ってしまい、厳しい経営状況となった。
- ・ 終末期の利用者が多くなり、うち一人は在宅で最後を迎えるため、本人・家族・関係者と思いを共有しながら関わった。
- ・ 常勤職員の役割分担、業務責任の意識化による業務整理に取り組んだ。年度途中の退職職員が出たあとの職員補充が上手くいかず、業務の引継ぎや分担などが不十分であった。

B 介護支援センターなごみ(指定居宅介護支援事業)

1 職員構成（平成25年4月1日現在）

常勤	3名	介護支援専門員（内1名は管理者を兼務）
非常勤	0名	

2 事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護支援事業	72	70	67	65	71	66	66	59	71	61	67	67	802
予防支援受託事業	17	17	17	19	18	16	15	14	14	12	14	18	191
認定調査	4	4	8	9	8	9	2	4	6	2	2	6	64
なんでも相談	10	16	6	8	4	2	5	11	13	8	7	6	96

3 監査指摘事項及び改善事項

平成25年度監査なし

4 その他問題点及び反省事項

- ・ 昨年度と比べて、介護支援にかかるケアプラン作成実績数は延べ20件の減少、予防支援受託件数は延べ35件の減少となった。年間通じてのケアマネジメント新規依頼件数は18件で昨年度より1件の増加であった。管理者兼務のケアマネジャーについて、兼務している他事業所の業務が増加したことからケアマネジャーとして従事する時間数が減少したため、ケアプラン作成件数が減少している。
- ・ 今年度は、前年度非常勤であった職員を正規職員として採用し、所要の要件を満たして特定事業所加算を算定した。プラン1件あたり約3200円の加算がついたことで前年度より増収となったが、ケアプラン作成件数は伸びず、黒字化には至らなかった。
- ・ 医療機関との連携については、病院のケースワーカーや地域連携担当看護師等との関係づくりが進んできており、退院時の連携がスムーズになってきた。

C つるさと相談支援事業所（特定相談支援事業、児童相談支援事業）

1 職員構成

常勤	2名	相談支援専門員（専従）1名、管理者（兼務）1名
非常勤	0名	

2 事業実績

基本相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問相談	31	44	28	34	24	24	15	15	10	8	15	4	252
外来相談	25	27	37	47	42	49	7	24	28	31	23	13	353
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

計画相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス等利用計画案	5	6	5	8	4	8	3	1	5	5	7	8	65
サービス等利用計画	6	7	4	6	7	5	6	1	3	4	6	6	61
モニタリング	0	1	4	6	6	12	4	5	10	11	7	15	81

3 監査指摘事項及び改善事項

平成25年度監査なし。

4 その他問題点及び反省事項

- ・ 月によってサービス利用支援およびモニタリング件数に差があり、多くの件数をこなさなくてはいけない月などは、新規の利用依頼に応じられないこともあった。
- ・ 障害者地域生活支援センターと同じ敷地で業務をできたことで、相談員1年目であっても手続き関係は比較的滞りなくできた。反面、一人で受け持つ担当ケースが増えるにつれて事務量が多くなり、個に対する支援が薄くなる傾向となった。

D 南区障害者地域生活支援センター（名古屋市障害者地域生活支援センター運営事業）

（特定相談支援事業・一般相談支援事業・障害児相談支援事業）

1 対象者

名古屋市障害者地域生活支援センター運営事業	南区在住の18歳以上の身体・知的障害者
特定相談・一般相談・障害児相談支援事業	障害児・知的障害者・身体障害者

2 事業内容

名古屋市障害者地域生活支援センター運営事業	相談（訪問・外来）・障害程度区分認定調査・自立支援協議会運営
指定相談事業	サービス等利用計画作成

3 職員構成

常勤	4名	管理者・他事業所の兼務1 相談支援専門員
非常勤	1名	相談員

4 事業実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問相談	121	99	98	109	85	87	83	110	88	79	85	99	1,143

外来相談	61	63	90	80	86	85	94	70	89	85	94	84	981
講習会 研修会	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	4
調整会議	6	10	9	11	9	4	7	11	7	4	4	3	85
認定調査	10	8	5	18	9	8	12	7	5	12	11	9	114
配食サービス	3	1	0	2	1	1	3	2	0	2	2	2	19
利用計画	23	23	22	17	17	22	19	24	21	17	17	28	250

5 監査指摘事項及び改善状況

平成25年度監査なし。

6 その他問題点・反省点・改善点等

- ・ 南区は計画相談支援を行う特定相談支援事業所は他区と比べて比較的多くあるが、それでも各事業所の相談員は担当ケースを多く抱えており、また支援方法に悩んでいる相談員も少なくない。このような状況のなか、支援センターとして、区内各事業所の相談員に対して事例検討会等を通じてアドバイスをしたり、相談員がひとりで抱え込まないように気軽に本音を語り合える場づくりを行ってきた。しかし、社会資源不足や制度の在り方に関する相談員の要望を的確に行政に伝え、次の制度設計に活かしてもらうための取組はできなかった。
- ・ ピアカウンセリングを意図した自主グループについては、5人前後の小グループで継続した。参加者間のコミュニケーションは徐々に増しているが、ピアカウンセリングに繋げるための働きかけが不十分であり、余暇的な活動に終始した。
- ・ 26年度より開設となる基幹相談支援センター委託事業の応募にあたり、2つの社会福祉法人とコンソーシアムを組んでプロポーザルに参加した。結果、当該コンソーシアムが受託団体として決定した。

E ヘルパーステーションわはは（居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護/移動支援事業）

1 対象者

児童、知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病等対象者

2 事業内容

居宅介護(家事援助・身体介護・通院介助)・行動援護・重度訪問介護・同行援護

移動支援事業

3 職員構成

常勤	3名	管理者1、サービス提供責任者2
非常勤	約26名	事務員1、登録ヘルパー約25

4 事業実績

	身体介護	家事援助	重度訪問	行動援護	通院介助 (身体有)	通院介助 (身体無)	移動支援	同行援護 (身体有)	同行援護 (身体無)	合計
時間	823.5	893	377.5	1404	0	0	6059	274	58.5	9886.5
件数	852	696	106	460	0	0	3244	204	58	5620

5 監査指摘事項及び改善状況

平成25年度監査なし。

6 その他問題点及び反省事項

- ・ 前年度と比較し、提供時間711時間増となったが、件数としては2件増と前年度並みであった。身体介護の提供

は減ったが、移動支援、同行援護の提供が増えた。

- ・ 年度途中で管理者が退職により交代。サービス提供責任者も1名交代した。
- ・ サービス利用計画作成に伴う相談事業所、家族、関係機関との調整会議が増えた。
- ・ 若干名の新規登録ヘルパーを確保した。

F ショートステイどんたく（短期入所事業・日中一時受入事業）

1 対象者

短期入所事業	児童・知的障害者・身体障害者・精神障害者
日中一時受入事業	児童・知的障害者

2 利用定員

12名

3 職員構成

常勤	1名	管理者・介助員の兼務1
非常勤	7名	介助員6、調理員1

4 事業実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
短期入所	延利用数	97	94	85	93	78	84	88	75	66	80	70	71	981	4.0
	営業日数	23	22	20	23	20	22	23	18	17	19	18	18	243	
日中一時	延利用数	112	97	91	93	67	89	92	101	91	90	85	88	1,096	4.5
	営業日数	22	22	19	22	17	19	22	20	19	19	19	19	239	

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
短期入所	実利用数	75	73	70	80	72	66	68	62	57	75	60	62	870
	提供件数	190	187	175	183	159	164	176	136	132	153	140	147	1,942
日中一時	実利用数	82	66	66	66	46	66	56	68	62	60	59	64	761

5 監査指摘事項及び改善状況

平成25年度監査なし。

6 その他問題点及び反省事項

- ・ 6月、就寝中に利用者が亡くなるという事故があり、夜間帯の定期的な見回りの徹底、利用者の既往歴、配慮事項の整理と職員間の共有、業務開始前の配慮事項確認の徹底などの整備を図った。又、利用者の受け入れ人数を減らし、新規の受け入れを中止し、無理のない安全体制の整備を図った。
- ・ 年度の途中で職員の退職があり、職員に欠員が生じた為、一時的に宿泊を提供できない曜日が発生し、利用者向日中一時受入事業利用への変更を申し出たりした。職員の補充がされ、中止していた曜日の宿泊を2ヵ月程で再開することができた。

G ニコニコホーム（共同生活援助・共同生活介護）

1 入居者状況（平成26年3月31日現在）

共同生活住居名	入居人数
---------	------

ホーム片平	4人
ホーム森下公園	3人
ホーム松が根台	4人
ホーム三高根	3人
ホーム光正寺	3人
ホーム森下	3人
ちゃれんじホーム野並	4人(3ヶ月毎交代)

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	1	8	1	1	1	12
女性	0	1	4	2	0	1	8
合計	0	2	12	3	1	2	20

(ちゃれんじホーム入居者除く)

障害程度区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
人数	0	1	3	7	7	2

(ちゃれんじホーム入居者除く)

就労状況	人数
福祉就労(生活介護事業所)	14
福祉就労(地域活動支援事業所)	1
福祉就労(精神障害者小規模作業所)	1
一般就労	2
介護保険デイサービス	2

(ちゃれんじホーム入居者除く)

2 職員構成

常勤	6名	管理者1(内兼務1)、サービス管理責任者1、世話人4(内兼務1)、生活支援員1
非常勤	30名	世話人8、生活支援員22

3 主な行事

ニコニコ秋まつり・ホーム日帰り旅行(名古屋市内・知多半島)・オンブズマン来所相談・その他(誕生日会・各ホームごとでの日帰り外出等)

4 昨年度との相違点

〔本体〕

- ・ 年度初めより管理者交代のもと一年間の事業運営を行う。
- ・ ひやりハット報告の積極的活用により、環境の不備、対応の不備について改善に努めた。
- ・ 事業所内での職員向け研修会の実施。
- ・ 下半期古い住居の大型修繕計画に着手。平成26年度に新規建屋2軒を準備し入居者の住み替え案を提案するための準備をした。
- ・ 世話人間でホーム全体の入居者情報の共有を図れるように努めた。
- ・ 下半期本体ホーム企画の余暇活動に、ちゃれんじホーム利用者も参加。

〔ちゃれんじ〕

- ・ 毎回、4名の定員を割ることはなかったが、定員を超える申し込みもなかった。
- ・ 昨年度に引き続き、複数回利用者が多く、その中で2期連続、3期連続での利用者が多かった。
- ・ 25年度の利用者の中で、ちゃれんじホーム利用後に、グループホームへの入居者は、24年度同様2名。2名以

外に、家庭の事情にもよるが、1名施設入所者がいた。

- ・ 計画相談事業所職員とのやり取りが多くなり、調整会議等行い、協力し合う機会が増えた。

5 監査指摘事項及び改善状況

平成25年度監査なし。

6 その他問題点及び反省点

〔本体〕

- ・ 非常勤の生活支援員の短期間での退職、急な欠勤により担当世話人の休日消化、超過勤務に影響がでることが頻繁にあった。
- ・ 世話人、生活支援員配置が1年を通して充足されなかった。
- ・ 職員の平均年齢が高齢化しているが、それに対応した勤務環境の整備は進められなかった。

〔ちゃれんじ〕

- ・ 事故2件あり。1件目は、夜共同生活住居を飛び出して、数時間の間行方不明となる。2件目は、髭剃り用のカミソリで手に3針縫う裂傷を負う。いずれの事故共に、原因を探り、再発防止のための検討、環境改善を行った。
- ・ 複数回利用者が多い中で、新規利用者確保に向けた行動が疎かになってしまった。
- ・ 服薬支援の中でのひやりハット報告件数が増加した。薬の保管方法の改善を行った。

H ニコニコハウス鳴海（生活介護事業）

1 対象者

18歳以上の知的障害者、身体障害者、精神障害者

2 利用定員

20名

3 職員構成

常勤	4名	管理者・サービス管理責任者の兼務1、生活支援員3
非常勤	9名	生活支援員7（内調理員と兼務1）看護師1、嘱託医1

4 事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用者数	350	349	327	360	272	321	365	327	303	295	289	327	3885
提供日数	21	21	20	22	17	19	23	20	19	19	19	20	240
平均利用者数	16.7	16.6	16.4	16.4	16.0	16.9	15.9	16.4	15.9	15.5	15.2	16.4	16.2

5 監査指摘事項及び改善状況

平成25年度監査なし

6 その他問題点及び反省事項

- ・ 他害のある利用者に対する対応を都度変えて行っているが、他害が多数発生した。さらに対応を考え実施していく必要がある。
- ・ プログラムの内容では新たな試みを行った。プール、公共交通機関での外出など。また利用者同士の関係も築きつつあり机を囲んでの活動なども多数行うことができた。
- ・ 入浴用リフトを設置し、利用者の安全確保、職員の身体的負担の軽減を図ることができた。

- ・ 車両事故が3件（内保険対応1件）交通違反が1件発生した。
- ・ 施設での避難経路、特に2階からの避難経路について検討が必要。

I ニコニコハウス鶴里(生活介護事業)

1 利用者状況(平成25年4月1日現在、定員40名、現員45名)

年齢別	18歳未満	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	合計
男	0	0	2	12	6	20
女	0	0	0	17	8	25
合計	0	0	2	29	14	45

*入・退所状況

月日	
入所	0
退所	0

*障害程度区分(平成25年4月1日現在)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
人数	0	1	8	23	10	3	45

2 職員構成(平成25年4月1日現在)

常勤	6名	管理者1、サービス管理責任者1、生活支援員4(うち1名育児休暇)
非常勤	20名	生活支援員15、看護職員1、調理員3、嘱託医1

3 事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	
述べ人数	848	867	807	893	687	767	880	815	773	638	745	803	9523
事業日数	21	21	20	22	20	19	22	20	19	16	19	20	239
平均	40.3	41.9	40.3	40.5	34.3	40.3	40.0	40.7	40.6	39.8	39.2	40.1	39.8

4 主な行事

- H25年 6/27～28 企画イベント:「ニコニコ即売会」
- 7/18 火災避難訓練
- 8/11 休日イベント(全体行事):「法人夏まつり」
- 9/27 全体行事:「日帰り旅行」～常滑・セントレア方面～
- 10/3 大高クリニックこころの健康相談(嘱託医訪問相談)
- 10/21 地震避難訓練
- H26年 1/22 健康診断(半田医師会)
- 2/20 大高クリニック訪問相談(職員向けケース検討会)
- 3/13 あいち福祉オンブズマン訪問相談
- その他
- ・ 余暇支援活動「おたのしみ活動」(毎月)～カラオケ、室内ゲーム等～
 - ・ 全体行事:おたんじょう日会(毎月)「顔合わせ会」「忘年会」「慰労会」
 - ・ 休日イベント(地域交流活動):「有松絞りまつり」「さわやかウォーク」等

5 特記実施事項

- ・ 実習生受け入れ 職場体験実習（7名） 学生実習（12名）
- ・ 設備、備品の老朽化に伴う修繕工事や食中毒事故を受けての厨房内及び休養室（厨房前室）改修工事を実施

6 監査指摘事項及び改善状況

平成 25 年 12 月 5 日実施

指摘事項	改善状況
・生活介護計画を交付する際は、説明・同意の日付を明記すること。	・日付の記入漏れがあった生活介護計画については、直ちに利用者・家族に説明し、改善。今後は担当者のチェックをしっかりと行なっていく。
・常勤換算方法に職員数を算定する場合、職員 1 人につき勤務延べ時間数に算入することができる時間数は、当該事業所において常勤の職員が勤務すべき勤務時間数を上限とすること。	・当年度職員配置基準確認表の修正を再提出し、今後は月単位の勤務表のもとで、指定基準に基づく直接処遇職員配置状況についても確認できるよう整備し、1 月より管理を行なった。
・就業規則の休日、年次有給休暇、産前産後の休業及び勤務時間別表に関する規定について見直しするとともに、代休に関する規定を追加すること。	・就業規則改正案を 3 月に開催された理事会に提案。了承。平成 26 年 4 月 1 日より改正した。
・常勤職員賃金規定に深夜勤務手当に係る割増賃金について正確に規定すること。	・就業規則改正案を 3 月に開催された理事会に提案。了承。平成 26 年 4 月 1 日より改正した。
・授産設備等整備積立預金と工賃変動積立預金については各々別口座で管理すること。	・年度内に通帳を 2 つ開設し、積立預金額各々を預金化した。
・経理規程に定める補助簿を整備すること。	・各々の台帳の紙媒体としての整備法を確認し整備した。
・加熱調理した全ての食品について、中心温度を測定すること。	・測定の記録となる衛生点検記録簿を再整備し、現在は全ての食品について、中心温度を測定している。
・食事提供体制加算について、食事に係る体制を確保するための方策を早急に検討すること。	・弁当屋会議を開催し、デイサービス鶴里給食、弁当調理と当該事業所給食調理の区分けについて検討し、内容について報告する。

7 その他の問題点及び反省事項

- ・ 5 月 利用者の送迎サービス開始。朝・帰り合わせて、月平均 200 件の実績。
- ・ 6 月 朝の利用者送迎時、車両事故（人身事故）が発生。運転に従事する職員の健康管理（運行前体調チェック）の実施、送迎ルートの見直し及び運転業務を専属とする職員の配置等の措置を行ない、再発防止に努めた。
- ・ 1 月 弁当屋厨房内で製造した給食及び仕出し弁当を食べられた方からノロウイルスによる集団食中毒事件が発生。再発防止に向けて、調理従事者の体調管理体制、厨房内及び厨房前室の衛生管理体制の整備に取り組んだ。
- ・ 利用者、家族の高齢化に伴い、健康面や今後の生活に向けての課題が一層多くなってきている。
- ・ サービス管理責任者の業務超過を受けて、次年度から 2 名体制にすることを検討した。
- ・ 当日急な体調不良で休む利用者も多くなり、一日平均利用者数も 39.8 人と伸び悩んだ。
- ・ 新たな地域交流企画として「ニコニコ即売会」を開催。平日にもかかわらず、2 日間で約 100 名程度の来場者があり、製品の販売だけでなく、ステージ企画（バンド、三味線）等を地域共同で楽しむことができた。

J 地域生活支援センターなごみ（障害者・高齢者在宅生活支援事業）

1 対象者

緑・南区に在住もしくは職場・学校が緑・南区にあり何らかの支援を必要とする方

2 事業内容

公的なサービスの隙間を補うための有料サービスの提供を行う。

サービス名	利用料
宿泊体験	10,000 円
宿泊サービス	3,000 円 (21:00 ~ 翌 8:00)
夕食コース	2100 円(夕食を含む)
タイムケアサービス	1,000 円/1 時間
車サービス	100 円/1 キロ
食事サービス	朝食 300 円・昼食 400 円・夕食 500 円
陶芸クラブ	利用料 1,000 円 講師謝礼 3,000 円
イベント	内容ごとに設定

3 職員構成

常 勤	1 名	管理者 1
非常勤	若干名	介助員

4 事業実績

サービス名	宿泊体験	宿泊	夕食コース	タイムケア	車	食事	陶芸
利用時間等	0 名	0 泊	0 件	0H	0km	朝 0 昼 0 夜 0	0 件

5 その他問題点及び反省事項

- ・ 障害福祉サービスの提供で充足され、当年度も有料サービスの需要、提供はされなかった。